

白山市発達相談センターだより

第 1 号
H27年9月
発行

白山市発達相談センターとは…

白山市では、発達障害などで乳幼児期や学齢期のお子さんの発達について悩んでいる保護者の方をはじめ、就労や人間関係などのつまずきを抱えている方の相談に応じ、保健・教育・福祉・就労・医療関係部署と連携をとりながら、発達障害の早期発見と継続かつ一貫した支援を行っています。

それぞれのライフステージ（年齢）に合った支援をするための体制整備や取り組みの充実を図り、一人一人が安心して生活できることを願いながら進めています。

【ワンポイントアドバイス】 ～ 一人ひとりの力を伸ばすために ～

その子（人）の苦手なことを伸ばすためには訓練するという発想ではなく、その子（人）がいろいろ経験することを少しでも楽しくできるように手助けすることだと思います。この少しでもというところがポイントで、スモールステップとも言われています。少しでもできたら、あるいはできなくてもやろうとしたら、周りが認めてあげましょう。次に進む大きなステップになります。

楽しむ発想には、失敗経験もOKで、「失敗したけれど、面白いからもう一回やってみよう」となれば、自然と結果も付いてくるのではないのでしょうか。

また、その子（人）の得意な分野をより伸ばしてあげる発想も大切です。できたという満足感と、人に認められたという喜びが自己肯定感を育み、二次障害を防ぐことにもなります。このお話については、是非下記の本田秀夫先生の講演会でどうぞ。

発達相談センター 保育士

【お知らせ】

特別講演会 「発達障害の理解と二次障害の予防について」

日時 **10月31日（土）** 9:30～11:30

場所 **白山市民交流センター 5階大会議室**（白山市倉光二丁目1番地 白山市役所横）

講師 **本田 秀夫** 先生

（信州大学医学部附属病院子どもこころ診療部 部長・診療教授）

お電話かFAXで、①お名前 ②ご連絡先 ③「10月31日の講演会に参加希望」とご連絡ください。

幼児期・学齢期（思春期）を中心に発達障害の理解や支援について関心のある方ならどなたでも参加できますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

5月

🎵 ミュージックケア 🎵

講師

日本ミュージックケア

協会 認定指導者

吉田茂樹先生をお招
きしました。



参加者の声

♪今回とても楽しく参加させていただきました。子供たちとの交流もできよかったです。

♪子どもも親も楽しませてもらいました。親はリフレッシュにもなり良かったです。

♪親子で楽しい時間をすごせて本当に良かったです。

次回

9/3 (木) 10時~11時

12/11 (金) 10時~11時



6月



🎵 「コミュニケーションを持つことが苦手な子の理解と支援」講演会

講師 金城大学短期大学部幼児教育学科 山田紀子氏

内容 長年の保育園・幼稚園での実務経験をお持ちの先生です。現在は学生指導をされるお立場ですが、「気になる子の保育」をテーマに、市内保育園や関係機関に対して、保育の指導もされております。保育現場のなかで、子どもの気持ちに寄り添っての具体的なアドバイス（何が困っているのかさぐりながら子どもの気持ちになって生活しやすい環境設定、子どもがどこで困っているのか、大人が見方を変えることで子どもが変わること）をご講演いただきました。

参加者の声（保護者）

☆経験にもとづく、お話しはとても感動しました。私は保護者なので、常によりそって…とはいきません。傷つけたこともあるし。親だからのなれあいといえますか、なるべく頑張っていきたいと思いました。前向きになりました。

参加者の声（支援者）

☆ずっと迷って困っていたモヤモヤがすっとはれたような気がしました。子どもに無理をさせていたと反省しました。診断名がついていなくても私のかかわり方をふりかえり、かえてみたいと思いました。



🎵 就学サポート相談会「就学の流れについて」

講師 学校教育課 指導主事 畑澤 潤一氏

内容 就学サポート相談会の4回シリーズの2回目でした。就学後の支援の内容（特別支援教育支援員、特別支援学級、通級指導教室、特別支援学校）説明や就学のスケジュール、どのような準備が必要かご講演いただきました。



参加者の声

🎵特別支援学級・通級について、現状なども含めてわかりました。就学の流れ、どのような機関が関わっているのか知ることができた。

次回 9/14 (月) 13時30分~15時「保護者体験談と放課後の過ごし方」



7月



「発達障害を知ろう 幼児期～学齢期」講演会

講師 やすもと医院 心療内科・精神科 院長 安本真由美氏

内容 広汎性発達障害（自閉症スペクトラム、知的を伴わない＝高機能、アスペルガー）、AD/HD それぞれの本人の困り感、困難さ、特徴の説明と本人・親への配慮、「あるがまま ないがまま」どのように受け止めていくかなど講演いただきました。

参加者の声（保護者）

- ♥寄り添ってくださる姿勢に本当に感謝でした。「でこぼこ」な特性の子に対して、優しく診たり、聴いてくださる先生に講演を頂き本当に良い経験でした。
- ♥発達障害の子たちを実際に療育している方の現場の言葉が心にひびきました。

参加者の声（支援者）

- ♥診断をつけるのはとても難しく、保護者の事を考えると苦しいと思っていましたが、その子の為に理解するものと考えることによって、とても必要なものだと感じました。
- ♥安本先生は、子ども達、保護者の”みかた”という印象を強く持ちました。



8月

【司会】 高野 行秀氏（石川県発達障害者支援センター）

【シンポジスト】

「保育」の立場から 荒井 美子氏（いしかわこども園園長）

- ・年齢ごとに違う気になる子の視点と保育の現状
- ・関係機関（乳幼児健診、発達相談センター）との連携

「医師」の立場から 林 律子氏（のぞみ小児科医院医師）

- ・診察の場面や現代社会から診た子ども、保護者、周囲の人々
- ・乳幼児期の子育て、集団生活での支援の視点

「保護者」の立場から 市内在住の特別支援教育を受けている児童の保護者

- ・乳幼児期からの子どもについて
とにかくわが子目線で一緒に遊ぶ（ひたすら砂利投げ等）
子どもを何とかするのではなく、親や周りが理解して本人が分かる環境を整えていくことがスムーズな早期療育につながる。

・『この子は発達障害ではない』と葛藤しながら様々な相談機関へ

「保健」の立場から 横山 三千代（発達相談センター保健師）

- ・健診は、ほぼ全員の子どもと親に会える場
- ・ある一定基準で測るだけではなく、その子がどれだけ伸びたかの経過を健診の中でみている。

参加者の声（保護者）

- 親が子に合わず。子に付き合う。なかなか難しいことではありますが、取り組んで今後楽しく育児が出来る様に心掛けます。
- 保護者の意見（ことば）がとても印象に残りました。やはり親御さんが子どもの一番のサポーターであり、理解者であると思います。子どもの居場所である保育園や学校が親の気持ちを聞いてほしいと思っています。
- 多数の方を担当され日々大変お忙しくされていらっしゃる中ですが、保健師の方の存在は、私にとってとても有難く感じています。一人一人に細やかに対応されている姿に大変感謝しています。”コーディネーターとしての役割”が機能し、感謝している親がいることを知ってください。

シンポジウム(幼児期)

「支援の必要な子の関わり方と連携の持ち方」



内容

- ・連携については、それぞれの機関が、信頼関係を大切にしながら真摯に向き合い、人と人がつながっていけるようにすることが大切です。
- ・保護者の方が、悩んでいる時は、一緒に悩んでいく人がいる事、悩む時間も必要です。

参加者の声（保育士）

- ”子どもに対して要求レベルが高すぎる”という言葉がとても心に響いた。保育の現場に長くいると、年齢に合った育ちを考え意識しすぎているかもしれないなと思った。子どもたちそれぞれの育ちをしっかりと見つめ関わっていききたい。
- 「気になる子」に対して、気になる姿や場面ばかりにとらわれてしまいがちだが、良い所・場面を大切にしていきたい。気になる子と関わっていくうえで、専門的な知識を勉強したりも大事だと思うが、それだけに偏りすぎず、その子自身を見つめ受け入れられる保育士でありたい。子どもたち一人一人に合った関わりの大切さを改めて強く感じることができてとても良かった。
- 一番困っているのは担任ではなく子どもである。分かっていることだが、つい大人を主に考えてしまうことを反省し、集団の中の子どもの姿や発達をしっかりとみて専門機関を勧めるタイミングを大切にしたい。



白山市発達相談センターのキャラクター“はっちゃん”自己紹介



僕の名前は「はっちゃん」。

白山市発達相談センターのキャラクターとして生まれたよ。
僕の仕事（活躍）は、発達相談センターを知ってもらって、みんなに親しみを持ってもらうこと。

それと…みんなが僕と一緒に、お家やお友達との付き合い方や保育園・学校での過ごし方とかを身に付けていくこと。
発達相談センターにいたり、チラシとかにも出没するよ！
見つけてみてね！

これから、よろしくね。

♡自己紹介

名 前：白山 発太郎（はくさん はつたろう）
愛 称：発達 はっちゃん
住 所：白山市倉光八丁目16番地1
誕 生 日：4月2日
性 格：とっても朗らか
 社交的でみんなと繋がりたい
 思ったことに一直線・活動的

♡名前の由来

発達相談センター：㊤ったつそうだんセンター
倉光八丁目16番地1：くらみつ㊤っちょうめ16ばんち1
「発達、発信する、朗らか」という思いを託してみました！

♡モチーフの由来

- ①発達を親しみやすい言葉にした
「はっちゃん」
⇒ 「はっちゃん」の言葉のイメージ
 - ②発達相談センターの住所である
「倉光八丁目」
⇒ 「八」のイメージ
- ①②のキーワードから、未広がりのおくさんの手で繋がりを、支援し、一緒に成長していきたいとの思いから「たこ」をモチーフとしました。

白山市発達相談センター
〒924-0865
石川県白山市倉光八丁目16番地1
Tel076-276-8819 Fax076-276-6291
白山市発達相談センターだよりは
白山市ホームページからダウンロードできます。



はっちゃんから一言
次回の発行は、平成
28年3月だよ♪
またね！